

# 平成27年度 佐鳴湖水質調査の結果



平成28年3月 佐鳴湖地域協議会

佐鳴湖では、住民の方に協力していただいて、水のきれいさや生物の豊かさなどを調査しています。平成19年10月から始めたこの調査は8年以上継続し、通算34回を数えました。ここでは、平成27年度に実施した春・夏・秋・冬（第31回～第34回）の調査結果をまとめて発表します。

調査は大きく分けて「アンケート調査」と「簡易水質調査」の2つがあります。「アンケート調査」は調査に参加したみなさんに調査地点の水を見たり触れたりしてもらい、評価や感想を回答するものです。「簡易水質調査」は現地で簡単な器具を使い、水質を調べるものです。それらの結果と静岡県が詳しく測定した水質の調査結果をあわせて、「人と湖沼の豊かなふれあいの確保」と「豊かな生態系の確保」などの視点から、佐鳴湖の環境を評価しています。

■ 調査日

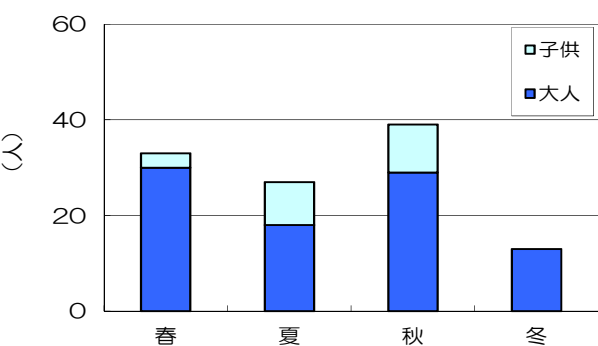
第31回（春）	平成27年 5月16日（土）	曇
第32回（夏）	平成27年 8月22日（土）	晴
第33回（秋）	平成27年 11月14日（土）	雨
第34回（冬）	平成28年 2月13日（土）	晴

■ 調査の内容

視点	調査の内容	
	アンケート調査	簡易水質調査
人と湖沼の豊かなふれあいの確保	ごみの量、水におい湖底の様子、アオコ発生水辺の音、水の透明さ水とのふれあいやすさ	透視度、透明度 700フィルの簡易確認
豊かな生態系の確保	水辺の植生 水生生物	溶存酸素(DO) アモニア態窒素(NH <sub>4</sub> -N)
湖沼の基本的特徴の表現		pH、COD

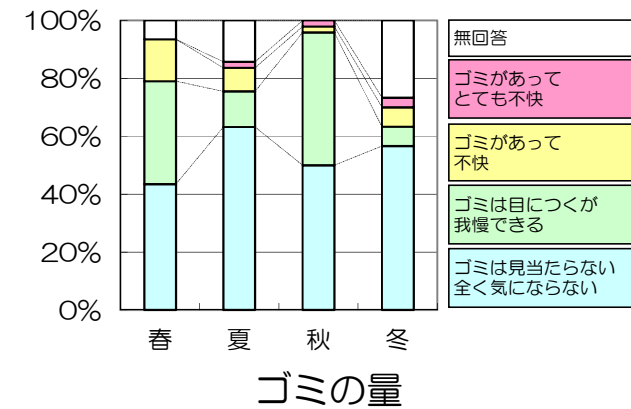
■ 調査地点  
右の図のとおり、佐鳴湖の水辺5地点で実施しました。

■ 参加人数  
平成27年度は、計4回の調査でのべ112人の方に参加していただきました。参加者は基本的に3班に分かれ、1人2地点ずつ調査をしました。

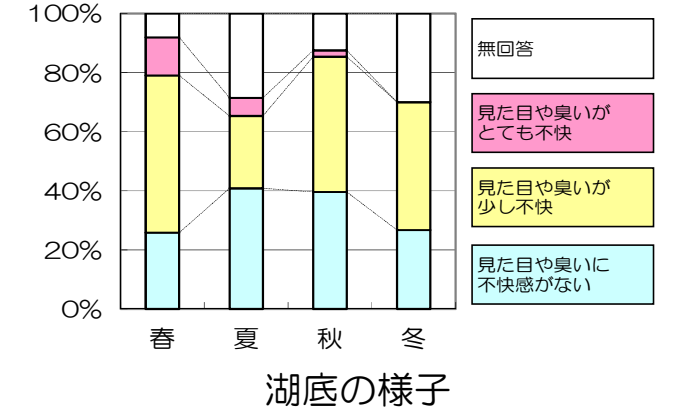


## アンケート調査の結果

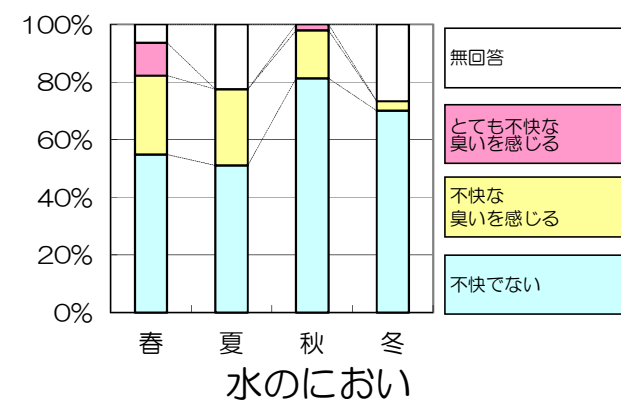
季節ごとにすべての地点の回答を集計しました。おもな調査項目の結果は、以下のようになりました。



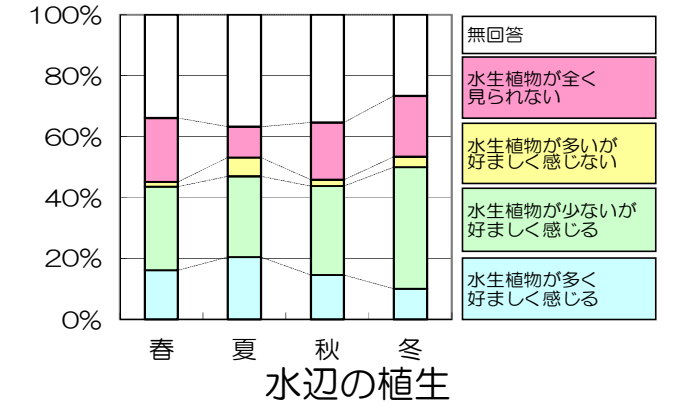
「ゴミは見当たらないか、全く気にならない」という回答が最も多くなりました。



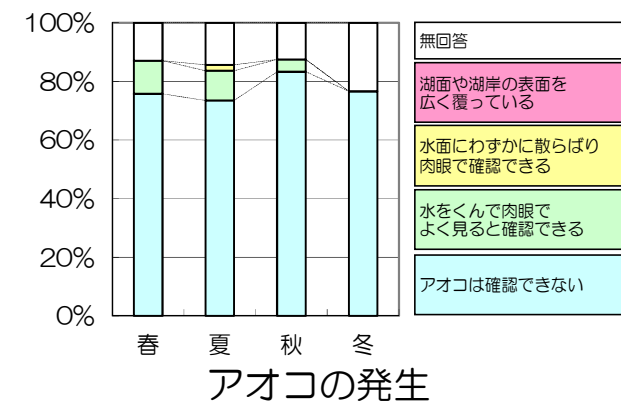
「見た目や臭いが少し不快」という回答が1年間の合計では最も多くなりました。



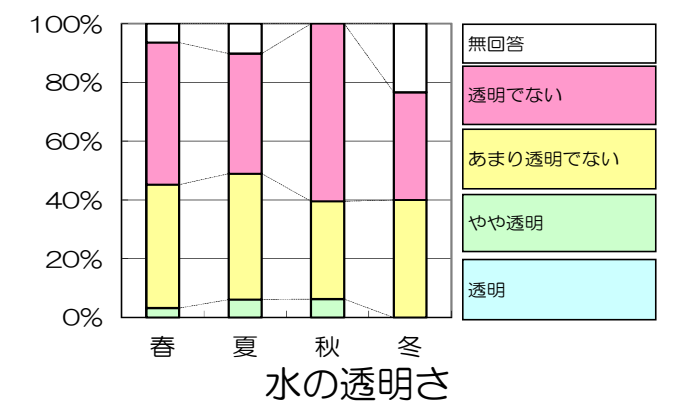
水のおい「不快でない」という回答が1年を通して半数以上を占めました。



「水生植物が少ないが好ましく感じる」という回答が多く見られました。



一年を通して、アオコは確認できませんでした。



1年を通して「あまり透明でない」または「透明でない」という回答がほとんどでした。



## 水生生物調査の結果

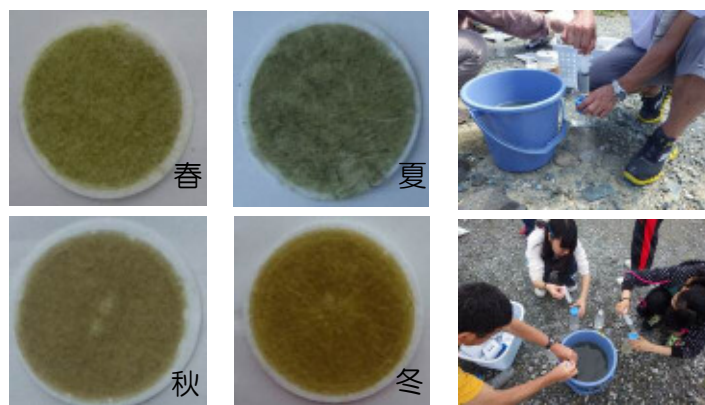
2リットルのペットボトルで作ったしかけを前日から沈めておき、どのような生物がとれるか調査しました。また、タモ網を使って岸近くの生物を採取しました。簡易的な調査ですが、平成27年度は、年間で19種類の水生生物が確認できました。



今年度の調査で確認されたおもな水生生物	
・オイカワ	・ハマガニ
・モツゴ	・クロベンケイガニ
・メダカ	・アシハラガニ
・シマイサキ	・モクズガニ
・ウロハゼ	・ヌマエビ
・マハゼ	・テナガエビ
・カワアナゴ	・スジエビ
・アマチチブ	・ニホンイサザアミ

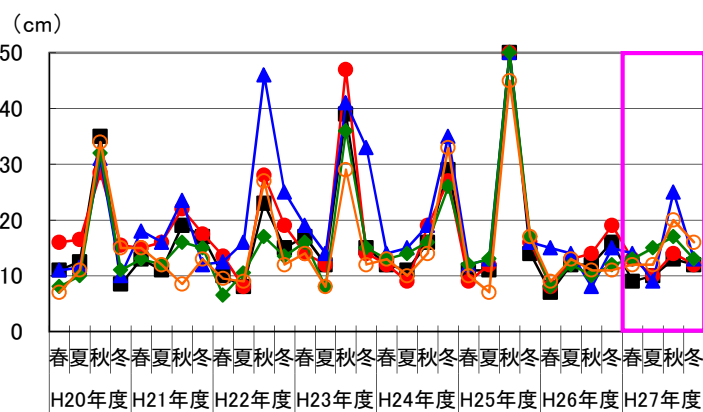
現地で分かる範囲で観察しました。

## 簡易調査の結果



クロロフィルの簡易確認

注射筒とろ紙を使って、200mLの水をろ過しました。ろ紙の色を「色見本」と比較して、最も近い色を記録しました。植物プランクトンの種類や量が変化するために合わせて、季節ごとに色が異なっていました。

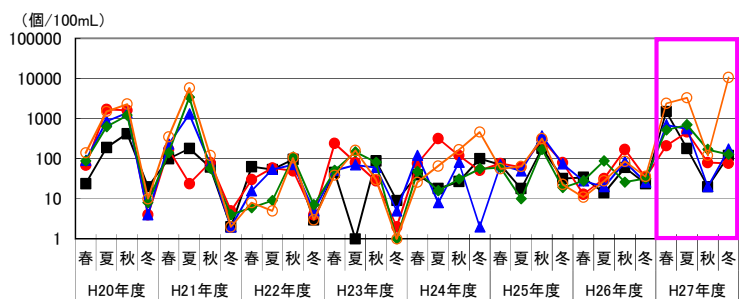


透視度

平成27年度は、秋に地点③で25cmとなり目標に届きましたが、その他は25cm未満(Cランク)でした。

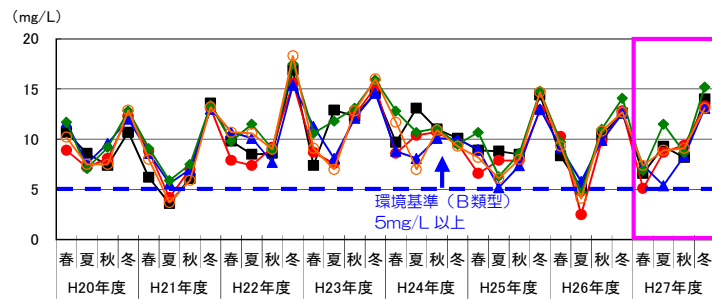


## 河川管理者（静岡県）による測定結果



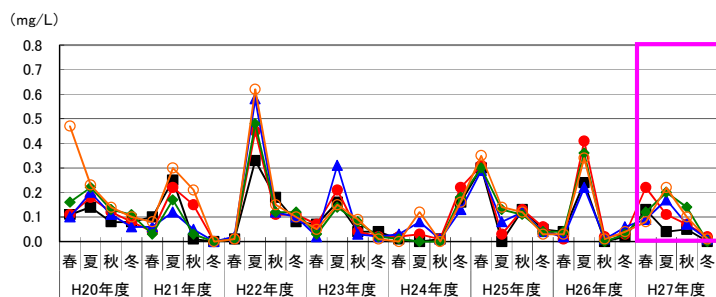
糞便性大腸菌群数

過年度に比べると高い傾向となり、1,000 (個/100mL)を超えた地点 (Cランク) もありました。



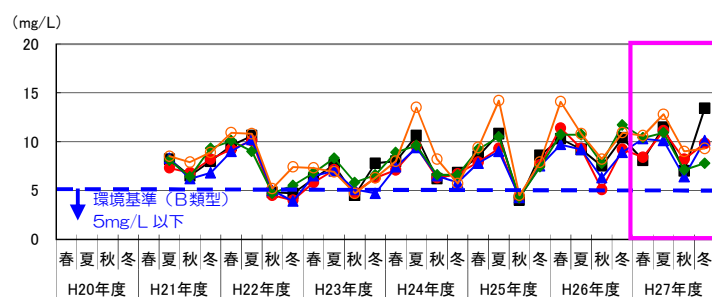
DO (溶存酸素)

すべての地点で5 mg/L以上あり、環境基準を満たしていました。



NH<sub>4</sub>-N (アモニア態窒素)

1年を通してほぼ0.2mg/L以下(Aランク)でした。特に冬は低く0.1mg/L未満でした。



COD (化学的酸素要求量)

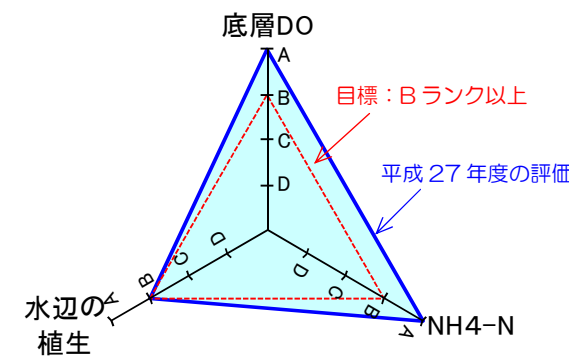
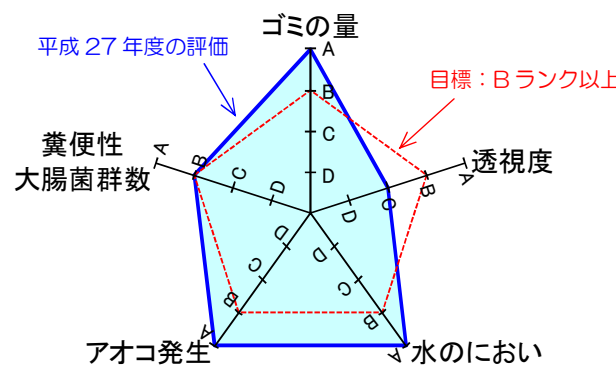
6.4~13.4mg/Lの範囲でした。秋に低くなる傾向が見られ、平均7.5mgでした。

## 新しい水質管理指標（案）による評価

平成27年度の調査結果を、国土交通省の「新しい水質管理指標（案）」で評価したものが下のグラフです。佐鳴湖の当面の目標は、すべての項目でBランク以上になることです。「透視度」が昨年に引き続きCランクで目標は達成できませんでしたが、全8項目のうち5項目でA評価となりました。

人と湖沼の豊かなふれあいの確保

豊かな生態系の確保



ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル				
			住民との協働による測定項目			河川管理者による測定項目	
A	顔を湖沼の水につけやすい		湖沼の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ゴミはあるが全く臭にならない	50以上	不快でない	アオコは確認できない	100以下
B	湖沼の中に入って遊びやすい		湖沼の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	25以上		肉眼ではアオコが確認できないが、水をくんで肉眼でよく見ると確認できる	1000以下
C	湖沼の中には入れないが、湖沼に近づくことができる		湖沼の中や水際にゴミがあって不快である	25未満	水に鼻を近づけて不快な臭いを感じる	アオコがうっすらと筋状に発生していて水面にわずかに散らばり肉眼で確認できる	1000を超えるもの
D	湖沼の水に魅力がなく、近づきにくい		湖沼の中や水際にゴミがあってとても不快である		水に鼻を近づけてとても不快な臭いを感じる	アオコが湖面や湖岸の表面を広く覆いかたまりもできている	

この調査結果の詳細については、こちらまでお問い合わせください。

お問い合わせ先：佐鳴湖地域協議会

(事務局) 静岡県浜松土木事務所 企画検査課 TEL053-458-7266

